

長期モニタリング評価指標及び評価基準等の見直しについての意見整理表

資料 1 - 3

(1) 【素案】長期モニタリング評価指標及び評価基準等の見直しについて

分類	No.	意見内容	意見への対応
		意見なし	

(2) 【素案】エコツアーWG 新評価シートについて

分類	No.	意見内容	意見への対応
19a 評価シート (7)	1	表題、文章中の「施設整備」を「施設整備と維持管理」に修正	エコツアーリズム戦略の「9. 具体的方策」の文言に合わせているので、「施設整備」のままとする。
19a 評価シート (8)	2	観光客の満足度や感想、観光客のニーズや行動の変化 →観光客の <b>評価</b> (満足度や感想など) やニーズ、行動 <b>特性</b> の変化	意見通り修正。
19a 評価シート (8)	3	連山植生調査を右欄に記載 (エゾシカの採食圧との関連があることから、これまでエゾシカ・ヒグマWGでモニタリングを行ってきた。もともとは登山道の荒廃のモニタリングが目的であった。どのWGで評価を行うのか、合同で評価をするのかは今後検討が必要。)	19a の評価シートについては行政等が実施している管理と取組を網羅的に記載する予定。したがって、連山植生調査もモニタリングとして追加する。なお、本モニタリングは「実施されているか」の評価となり、その評価はエコツアーWGで行う。一方、エコツアーWGがかかわる評価項目Ⅶ「レクリエーション利用等の人為的活動と自然環境保全が両立されていること」の評価方法については科学委員会で検討する。

(3) その他

分類	No.	意見内容	意見への対応
—	1	「レクリエーション利用等の人為的活動と自然環境保全が両立」について、新たなモニタリングや調査実施の必要性が生じた際には、迅速に対応できるように記載を工夫してほしい。	長期モニタリング自体は 5 年ごとの見直しとなっており、その期間で対応する。 一方、本モニタリング結果から新たな調査等の必要性が生じた場合には、WGでの検討で別途調査等の実施を検討することは可能。